

富山大学杉谷（医薬系）キャンパス研究活動一覧（第37輯）の発刊にあたり

昭和50年10月富山医科薬科大学が杉谷キャンパスに創設され、昭和53年に「富山医科薬科大学研究活動一覧」第1輯が発刊されています。このたび第37輯が発刊されましたが、研究活動に従事し成果を挙げ続けている教員、研究者はいうまでもなく、本一覧を継続して発刊している医薬学図書館運営委員会の研究活動一覧編集委員会委員および事務職員の皆様のご尽力に負うところが大きいです。

わが国の大学を巡っては、教育が重視されてこなかったことに対して多くの批判が寄せられ、教育に関するさまざまな改革が大学主導で、あるいは文部科学省の誘導で進行してきています。その一方でいわゆる研究大学には多くの研究資金を投下し世界に伍して行ける研究成果を挙げることも要求されています。翻って富山大学の立ち位置を考えてみますと、地方にある高等教育機関として知の伝達だけで十分とはゆきません。伝達すべき知そのものを作り出す機能を欠いては高等教育機関とは呼べません。

本一覧は富山医科薬科大学を引き継ぐ杉谷キャンパスの医薬系教員（学科目担当教員も含みます）のこの1年間の研究活動の集成です。国からの予算で運営されている大学としてその成果を世に公開することは当然の責務であります。研究者でもあるべき大学教員各位の創意と努力の結晶であり、学内外の共同研究者の協力の成果でもあり、現在の富山大学杉谷キャンパスの実力を世に示す報告書であります。多数の研究者を擁して研究が順調に進んだ講座、研究室もあれば、思ったほど成果があがらなかったところもあるかもしれません。互いの研究活動の現状を知り、共同研究を育む情報源として本一覧の意義は大なるものであります。それぞれの研究者の足跡であるとともに、産学連携による新たな研究活動へのステップとしてこの研究一覧が役に立つことを期待しております。

最後に本研究活動一覧をまとめるに当り多大な尽力を頂きました編集委員会委員と医薬学図書館事務職員の皆様にお礼を申し上げます。

富山大学附属図書館長 井上 博
Inoue Hiroshi